

1. ICカードの現状

●長崎スマートカード（平成14年1月導入）

地域独自カードのひとつであり、導入している交通事業者の運行範囲内で利用可能

導入事業者 10社局

西肥自動車(株)、佐世保市交通局、させぼバス(株)、松浦鉄道(株)、長崎県交通局、長崎県央バス(株)、島原鉄道(株)、長崎電気軌道(株)、長崎自動車(株)、さいかい交通(株)



問題点

- ・ICカード自体と運用システムの老朽化
- ・地域限定カードのため、全国的な広がりを見せる「全国相互利用交通系ICカード」が使用できない

●全国相互利用交通系ICカード（10カード）

右記の交通系ICカードは、お互いのどの地域においても相互利用が可能。

メリット

- ・1枚持っていれば全国どのエリアでも利用でき、旅行先や不慣れな土地でのきっぷ購入が不要になる
- ・コンビニ等での積み増しが可能となり、電子マネーやポイント活用により商店との連携サービスも期待される。

- ・Suica（JR東日本系）
- ・ICOCA（JR西日本系）
- ・PASMO（関東民鉄系）
- ・PiTaPa（関西民鉄系）
- ・Kitaca（JR北海道）
- ・SUGOCA（JR九州系）
- ・TOICA（JR東海）
- ・nimoca（西鉄系）
- ・manaka（中部民鉄系）
- ・はやかけん（福岡市交通局）



2. 国の動向

ICカードの未普及地や、地域独自カードに留まっている地域においても、国内外からの訪問者が1枚のICカードでどの公共交通機関にも乗れるように、下記の2つの方法により平成32年度（東京オリンピック）までの環境構築を目指す。

- ①10カードへの参加を促す（訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業補助金）
- ②地域独自カードの改修を行い、10カードの片利用ができるようにする。

片利用とは？：10カードは地域独自カード対象のエリアで利用できるが、地域独自カードは10カード対象のエリアでは利用できない

3. 長崎県内での10カード導入

長崎県バス協会及び長崎スマートカード導入各社は、次期ICカードについて、10カード「nimoca」の導入に向けた準備をしていくことを決定。

導入カード：全国相互利用交通系ICカード nimoca

※nimocaは福岡県、佐賀県、熊本県の一部、大分県、宮崎県、函館市で導入されている

導入予定年度：平成31年度～32年度

導入予定事業者：西肥自動車(株)、佐世保市交通局、させぼバス(株)、松浦鉄道(株)、長崎県交通局、長崎県央バス(株)、島原鉄道(株)、長崎電気軌道(株)、

※長崎自動車(株)とさいかい交通(株)は検討中とのこと

